

令和8年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」仮申請関係様式

●令和8年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施 自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和8年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、 令和7年度における取組の評価・分析 を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値
25000滋賀県	①学校運 営上の課 題	01 教職 員の時間 外勤務の 是正	教職員の時間外勤務が深刻な状況となっている。時間外勤務の縮減や働きやすい職場づくりによって「学校における働き方改革」を進めることが課題となっている。	県が直接実施する「研修会」は、質的向上を目指して”みつめなおして、よりよく”をテーマに開催する。「CSアドバイザー派遣」は、CSの導入にむけての情報提供や学運協の熟議の活性化により「地域と学校の連携・協働」の実現に向けた伴走支援を行う。地域と学校の連携・協働をとおして、従来教職員が担ってきた、地域人材との連絡調整等を、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員や地域コーディネーター等が、分担・協力して行う。	・多様な立場の参加につながるよう研修会を周知し、互いの立場の理解を促進する。 ・研修会では、当事者の思いに寄り添うワークショップ等の体験的な学びを充実する。 ・「地域と学校の連携・協働」を推進する事業で現在教職員が担っていることを地域学校協働活動推進員やボランティア等が分担したり、協力したりするようにCSアドバイザー派遣でアドバイスする。	地域と学校の連携協働によって教職員の業務負担が軽減され、「学校における働き方」につながり、子どもが安心して学びを進めることができる環境が整う。	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の取組は、教員の業務負担の軽減に効果があった。」と肯定的回答する学校のパーセンテージ	小：64.5 中：39	%	小：66 中：41